

# 審 査 決 定 報 告 書

文教福祉委員会

令和4年第1回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました議案第12号ほか8件の審査の経過並びに結果について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき報告します。

これらの案件については、3月17、18、22日に委員会を開催し、慎重に審査を行いました。その結果は、下記のとおりであります。

以下、審査の概要を申し上げますと、

## 1 議案第17号 水戸市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

本案は、世帯別平等割を廃止し、所得割及び被保険者均等割による賦課方式へ変更することに伴い、税率改正を実施するとともに、子育て世帯の負担軽減を図るため、18歳までの被保険者に係る均等割額を軽減するものであり、条例改正に至る経緯について、改正による影響額について、軽減措置の期間等について、種々質疑応答を重ねた後、採決の結果、賛成多数をもって、原案を可決すべきものと決定いたしました。

## 2 議案第20号 令和4年度水戸市一般会計予算中第1表中歳出中第3款(民生費)中文教福祉委員会所管分、第4款(衛生費)中文教福祉委員会所管分及び第10款(教育費)中文教福祉委員会所管分並びに第3表債務負担行為中文教福祉委員会所管分

本案について、第3款民生費では、民生委員経費の内訳について、障害者の工賃向上に向けた取組について、福寿のつどいの事業概要及び経費内訳について、こども部設置による新たな相談支援体制について、市民センター子育て広場事業の運営体制について、放課後学級の施設確保策について、生活保護申請に係る窓口体制等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「障害者就労支援事業については、地域事業所との関係を強化し、さらなる障害者の工賃向上に努められたい」、「新たに実施する福寿のつどいについては、リニューアルに至った経緯や地域の実情を十分に踏まえ、事業内容をさらに精査し、充実した事業となるよう努められたい」、「新設されるこども部においては、部内での緊密な連携体制の下、市民福祉のさらなる向上につながるよう、鋭意取り組まれたい」、「放課後学級事業については、児童数に応じた適切な施設確保に取り組み、コロナ禍における運営体制の充実に努められたい」等の意見が出されました。

次に、第4款衛生費では、小児インフルエンザ予防接種事業の経費及び対象者数について、子宮頸がん予防接種の勧奨方法について、新型コロナウイルスワクチン接種経費の内訳について、医師修学資金貸与事業の詳細及び今後の見込み等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「新型コロナウイルスワクチ

ン接種等各種予防接種事業については、対象者及び保護者に対し丁寧な情報提供を行い、接種率の向上に努められたい」、「医師修学資金貸与事業については、医師確保に向けて重要な施策であるため、新たな助成制度の創設も検討しながら、さらなる充実に努められたい」等の意見が出されました。

次に、第10款教育費では、AETによる学習効果について、AIドリルの活用方策について、教職員の資質向上に向けた研修会について、部活動指導員について、スクールソーシャルワーカーの配置計画について、いじめ対応専門班の支援体制について、学校給食における食材の調達方法及び地場農産物の活用状況について、水泳授業の目標及び時間数について、二の丸角櫓アプローチ通路の整備方針について、ヒカリモの保存・活用事業の現況及び今後の取組等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「AETのさらなる活用方策を検討し、学習効果の向上や英語に親しむ環境の創出に努められたい」、「教職員の働き方改革については、児童生徒への教育環境の充実を第一に、業務効率化に向けた教職員の意識改革に努めながら鋭意推進されたい」等の意見が出されました。

この後、採決の結果、賛成多数をもって、原案を可決すべきものと決定いたしました。

### 3 議案第27号 令和4年度水戸市介護保険会計予算

本案については、認知症に係る相談支援体制等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「認知症サポート医や保健師等のチームによる支援制度について、悩みを抱える家族等に向けた周知を図り、より丁寧な対応に努められたい」等の意見が出されました。

この後、採決の結果、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上のほか、議案第12号 水戸市児童福祉施設基準条例の一部を改正する条例、議案第28号 令和4年度水戸市介護サービス事業会計予算、議案第30号 令和4年度水戸市母子父子寡婦福祉資金会計予算、議案第36号 令和3年度水戸市一般会計補正予算（第11号）中第1表中歳出中第3款（民生費）及び第10款（教育費）並びに第2表継続費補正中第3款（民生費）及び第10款（教育費）についても、種々質疑応答を重ねた後、採決の結果、いずれも全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定いたしました。

そのほか、議案第21号 令和4年度水戸市国民健康保険会計予算、議案第29号 令和4年度水戸市後期高齢者医療会計予算についても、種々質疑応答を重ねた後、採決の結果、いずれも賛成多数をもって、原案を可決すべきものと決定いたしました。

記

議案第12号，議案第17号

以上，原案を認める。

議案第20号中第1表中歳出中第3款中文教福祉委員会所管分，第4款中文教福祉委員会所管分及び第10款中文教福祉委員会所管分並びに第3表債務負担行為中文教福祉委員会所管分

原案を認め，次の意見を付する。

#### 意 見

水泳授業環境整備事業については，市の水泳教育に関し重大な転換をするものであるが，事業方針についての説明責任が十分に果たされておらず，議会における審議が不足しているところである。執行に当たっては，事業内容をさらに精査した上で，新年度当初に当委員会に改めて報告されたい。

議案第21号，議案第27号，議案第28号，議案第29号，議案第30号，議案第36号中第1表中歳出中第3款及び第10款並びに第2表継続費補正中第3款及び第10款

以上，原案を認める。

上記のとおり報告する。

令和4年3月24日

水戸市議会議長 須 田 浩 和 様

文教福祉委員会

委員長 木 本 信太郎